

平成
17年

特別会計補正予算

可決

国民健康保険

歳入、歳出にそれぞれ1億2,935万1千円を追加。
(歳入)、国庫支出金7,284万6千円の減と療養給
付交付金の1,160万7千円の増によるものが大き
い。

〈国庫補助金の減は1億1,586万2千円で国保合計
への影響は大である。〉

介護保険

歳入、歳出それぞれ8,470万2千円を減額した。
国庫支出金、支払基金交付金、県支出金の減が主
である。



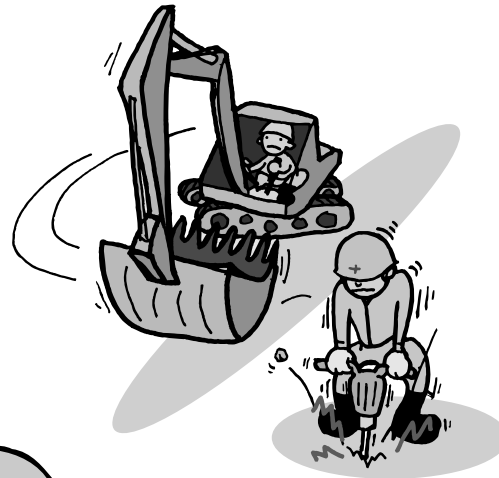
土地区画整理事業

歳入、歳出に3,751万9千円を減額。
保留地処分が当初の計画どおり、出来なかった。



公共下水道事業

歳入、歳出にそれぞれ1,185万3千円を追加、公共
下水道費の負担金増が主である。



水道事業

収益的支出の予定額34万8千円を補正
主な要因は職員給与費の分である。



教育委員の任命



波照間ミサ子(64) 翁長439-2

※大城洋子氏の任期満了に伴うもの

人事

選挙管理委員の選挙

議員による投票の結果次の方々が決まりました。

新里勝弘(61)
小那覇250下地郁子(64)
呉屋94-2城間盛安(56)
翁長495-2安谷屋啓子(45)
桃原30

[補充員]

- 1 山入端立美 小波津233-103
- 2 呉屋カツエ 小波津647-4
- 3 平良ヨシ子 徳佐田73-4
- 4 喜屋武光廣 池田83

人権擁護委員の推薦

玉那覇良江(55)
小波津126
※任期満了に伴うもの玉城藤子(55)
与那城259
※外間政弘氏の辞任に伴うもの。平成
17年

一般会計補正予算

可決

歳入、歳出それぞれ1億315万4千円を追加し

総額を87億1,474万円とする。

○主な要因として、社会福祉総務費の繰出金で国保特会の赤字繰出金1億8,500万円が大きい。